

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年2月17日
札幌市立篠路西中学校

1 学校教育目標

未来をひらく人間性豊かな生徒

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 進んで学び 創造的知性を身につける | 2 礼儀正しく 豊かな情操を身につける |
| 3 ねばり強くやりぬき 心身を鍛える | 4 自他を尊重し 進んで行動する |

2 本年度の経営方針

自立貢献 自学自習 自主自律

- 学力の3要素（学ぶ意欲・学んだ力・活かす力）をバランスよく育む学習指導の充実
- 豊かな感性と社会性を育む体験活動や道德教育の充実
- 健やかな身体を育む指導の充実
- 将来に希望をもち、生き方や進路について考える進路探究学習の充実
- 特別な教育的支援を必要とする子ども個々の教育的ニーズに応じた指導や支援の充実
- 教職生活全体を通じて、実践的指導力を高める研修活動の充実
- 地域に開かれ、地域に支えられる、信頼される学校づくりの充実

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校教育目標	学校教育目標「未来をひらく人間性豊かな生徒」を意識して教育活動を進めている。	A	学校教育目標の達成を念頭に置き、教職員一丸となって計画的に業務を推進した。札幌市学校教育の重点等と本校の特色に基づき、教育活動を進めていきたい。	A	A
	学校教育目標が保護者・生徒に理解されている。	A	ホームページや連絡ツールアプリすぐるを使い、各種たよりを掲載するなど、積極的に情報発信を行った。また、すぐるの活用を頻繁にした。今後も継続し、学校教育目標の理解を促していく。	A	A
	教育活動全般にわたって反省・評価を行い、次年度の計画に生かそうとしている。	A	各分掌にて、適宜反省、改善策の検討を行い、次年度の計画に反映させている。	A	A
	全体研修を計画的に実施し、教育実践に役立てている。	A	学習指導要領に沿って、評価評定や学級経営における研修の充実を図った。今年度は指導主事を招いて、学習評価の在り方についてや指導と評価の一体化を図る教育の在り方についての研修を行い、充実したものになった。	A	A
学校関係者評価委員による意見		・学校教育目標の理解促進について、ホームページや連絡ツール等を頻繁に活用していることがよく見られた。			

学 習 指 導	学習指導要領に則った教育課程を編成し、実施している。	A	今年度から2期制に移行し、余裕を持った教育課程を編成することで、適切に実施することができた。わかりやすい授業づくりに努め、生徒アンケートの結果からも89.9%が肯定的な結果であった。	A	A
	基礎学力の定着を目指すため、学習指導と評価の工夫に努めている。	B	今年度から定期テストを4回（3年生は3回）とし、基礎学力の一層の定着を目指したが、平常点とのバランスや、評価資料の収集にばらつきがあった。また生徒からは25.7%やや否定的な回答があるので、次年度に向けて評価方法の説明を丁寧に行い、家庭学習の大切さを促すことで、基礎学力の定着に結び付けていく。	A	A
	観点別の達成目標の見直し・具体化に努め、評価・評定の充実に努めている。	B	学習指導要領に準じた評価に取り組んだ。生徒の学びに向かう力や、個別最適な学びと協働的な学びなど、課題が明らかになってきたので、次年度に向けて改善していく。	A	A
	T・T等を有効に活用し、積極的に学ぶ学習態度の育成に努めている。	A	T・Tの積極的な活用により、授業中に困り感をもった生徒への支援につなげることができた。また、個に応じたきめ細かな指導に取り組んだ。今後も継続する。	A	A
学校関係者評価委員による意見		・家庭での学習時間は、スマートフォン使用時間と関係してくる。定期テストの評価方法を生徒に分かりやすく説明し、家庭学習の大切さを生徒一人ひとりによく理解させることが大切であると思います。			
生 徒 指 導	基本的な生活習慣の徹底と自己管理能力の育成を図っている。	B	スマートフォン等の使用に関して自己管理が不十分であることが、依然改善できていない。日常の生活の中で、時間を意識した行動を促したり、自治的な活動を通して、今後、自己管理できるように指導していく。	A	A
	自他の生命や人権を尊重する心、感動的・体験的活動を通して豊かな人間性の育成を図っている。	A	心を育てることを中心に、日常的教育活動をはじめ、行事や道徳等を通じて人間性の育成を図っていく。	A	A
	受容と共感、相互信頼に基づく生徒指導体制の確立と充実に努めている。	A	報告・連絡・相談の徹底を図っていくとともに、生徒の心情に寄り添った指導を心掛けた。今後も継続していく。	A	A
	生徒理解のための全教職員による教育相談活動の充実に図り、不登校やいじめ、問題行動等の未然の防止のため、生徒の内面的な心の状態を十分に把握するように努めている	A	日常の観察、対話を大切にすること、保護者との連絡を密にし、家庭と学校の連携の上、一人一人が大切にされていると実感できる学校であることを常に意識した。さらに、生徒・保護者の支援を手厚くするためにも、スクールカウンセラーや相談支援パートナー等の活用、関係機関との連携、校内学びの支援委員会の活性化を今後も図っていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見		・スマートフォン等の使用の自己管理は大切です。今後も情報モラルの指導を推進してほしい。			

健康 安全 指導	健康に対する意識を高め、望ましい生活習慣を身につけさせるよう努めている。	A	ホームページ、保健だより、委員会指導を通じ、生徒の健康に対する意識を高めた。生徒アンケートの結果も 94.6%が肯定的な結果であった。今後は一層家庭との連携・協力に努め、食事・運動・休養を意識した生活習慣を身に付けさせたい。	A	A
	学校給食を通して望ましい食習慣の育成のため給食指導を適切に行っている。	A	親学校の栄養教師作成の VTR 視聴を行い、食育に関わる指導を実施した。今後も給食の親学校の栄養教諭と連携し、計画的に、食に関する指導・食育に取り組んでいきたい。	A	A
	生徒たちは部活動に意欲的で、生き生きと参加している。また、外部指導者の活用により、充実した活動が展開できるように努めている。	B	今年度も外部指導者の活用を行わなかった。必要に応じて検討する必要もある。部活動に参加している生徒たちは、生き生きと活動を行っているが、グラウンドでの活動に課題が残っている。	A	A
	防災・防火（避難訓練）・防犯教育等を適切に行っている。	A	予定していた訓練は滞りなく実施できた。予告なしの訓練が実施できていないので、今後は実際場面に即した訓練を実施していく。	A	A
学校関係者評価委員 による意見		・各種訓練は継続的に実施することにより、危機管理能力の向上につながる。より実践的な訓練の実施を望みます。			
家庭 や 地域 との 連 携	学校行事や生徒会活動を積極的に保護者や地域に公開している。	A	創西祭と大運動会では保護者に参観していただいた。実施した行事や生徒会活動などはホームページへの掲載が主となっている。学校公開の機会を増やしていきたい。	A	A
	学校だよりやホームページの充実を図り、保護者・地域に本校の教育活動を知らせている。	B	行事や必要な連絡はしっかりできたが、日常の授業風景などのホームページ更新頻度がやや少なかった。今後は定期的にも更新できるように改善していく。	A	A
	小学校との連携を密にし、教育の連続性の理解を深め、一貫性のある教育活動の展開に努めている。	A	今年度は、教員同士による交流会を実施することができた。3 月中に中学校家庭科教師による出前授業、生徒会役員による中学校説明会も予定している。次年度以降に向けて、持続可能な形での中小一貫した教育を目指していく。	A	A
	生徒の健全育成の促進を図るため、地域の行事や奉仕活動などへ積極的に参加・協力している。	B	生徒会の活動を中心に、地域行事での報告や発表を行うことができた。健全育成委員会も開催でき、今後も積極的に参加・協力していく。	A	A
	地域や関係機関との連携を密にした教育活動の推進をしている。	A	校区小学校や篠路 C ネットとの連携、北区保健福祉部家庭児童相談室、少年育成相談室、教育センター、ケースワーカー、児童委員等関係機関との連携は円滑である。今後も連携を大切にしていきたい。	A	A
学校関係者評価委員 による意見		・今後も関係機関との連携を密にして、地域の人材を大いに活用してほしい。またホームページは関係機関や地域の方々が情報を得るための一手段であることから、継続的な情報公開を期待しております。			

その他	個人情報・諸帳簿の取扱い・管理が適切になされている。	A	個人情報の管理は情報セキュリティポリシーに従い適切になされている。今後も継続する。	A	A
	施設・設備の状況を把握して、安全な管理体制の整備に努めている。	A	全職員による不具合の発見・報告により、迅速に対応し安全整備に努めることができた。今後も継続したい。	A	A
	学校徴収金や補助教材は必要最小限とし、保護者の負担軽減に努めている。	B	学校徴収金・補助教材にかかわる管理部門では適切に業務が行われた。しかしあまり協力的ではない方も一定数おられるので苦慮しているのが現状である。今後も負担軽減に努めていきたい。	A	A
学校関係者評価委員による意見		・個人情報の漏洩は大きな問題となることから、教職員が各種情報を持ち出さなくてもよいような、ガードが厚くかかったネットワークの構築が必要ではないだろうか。			